

# 日本の練習船・実習船一覧

○横浜みなと博物館企画展「日本の練習船～海の上の学校」(2021年2月27日～5月9日開催)にて写真等でご紹介した実習船・練習船のデータです。

○各船の要目は資料提供者より提供、またWEBページや練習船・実習船パンフレット等を参考に作成し、一部は『日本船舶明細書』(編集発行 一般社団法人日本海運集会所/横浜みなと博物館ライブラリー所蔵)データを利用し、作成しました。

○各船のコメントは、画像提供団体等のWEBサイトや各船のパンフレット等を参考に横浜みなと博物館で作成しました。

## 高等学校の水産・海洋系実習船



### 北海道水産高等学校実習船 若竹丸(わかたけまる)

総トン数 692トン／全長 63.52メートル／竣工 2017年3月28日／定員(最大搭載人員) 79名

若竹丸は漁業実習(マグロはえ縄)、航海運用学及び機関学の実習、海洋観測及び生物の調査研究を目的とした、国際航海に従事する実習船。北海道立水産・海洋系高等学校の生徒が実習のため乗船する

画像提供 北海道教育庁渡島教育局実習船管理室



### 北海道水産高等学校実習船 北鳳丸(ほくほうまる)

総トン数 664トン／全長 63.60メートル／竣工 2001年3月9日／定員(最大搭載人員) 74名

北鳳丸は若竹丸と同様に漁業実習等に用いられている

画像提供 北海道教育庁渡島教育局実習船管理室



### 青森県立八戸水産高等学校実習船 青森丸(あおもりまる)

総トン数 660トン／全長 65.68メートル／竣工 2003年3月／定員(最大搭載人員) 78名

マグロはえ縄実習、イカー一本釣り漁業実習や海洋調査、体験航海等に用いられている。本船は青森丸として6代目

画像提供 青森県立八戸水産高等学校



#### 岩手県立水産高等学校共同実習船 りあす丸(りあすまる)

総トン数 499トン／全長 57.52メートル／竣工 2001年3月15日／定員(最大搭載人員) 65名

りあす丸は岩手県の水産高等学校が共同で実習や調査・研究を行うことを目的に建造された。船体上部に描かれた3つの丸のマークは、孵化(ふか)直前の魚卵をイメージしている

画像提供 岩手県立宮古水産高等学校



#### 岩手県立学校沿岸漁業共同実習船 海翔(かいしょう)

総トン数 171トン／全長 40.30メートル／竣工 2015年2月2日／定員(最大搭載人員) 34名

東日本大震災で被災し廃船となった先代実習船「翔洋」に代わり建造された

画像提供 岩手県立宮古水産高等学校



#### 海洋総合実習船 宮城丸(みやぎまる)

総トン数 650トン／全長 64.13メートル／竣工 2003年3月20日／定員(最大搭載人員) 68名

宮城県水産高等学校、同気仙沼向洋高等学校での乗船実習や海洋観測・調査に使用されている。2020年12月に新しい宮城丸の起工式が行われ、2021年度末に進水式が行われる予定

画像提供 宮城県教育庁



#### 福島県立いわき海星高等学校練習船 福島丸(ふくしまる)

総トン数 665トン／全長 63.65メートル／竣工 2017年11月20日／定員(最大搭載人員) 80名

東日本大震災後に建造された本船の船体中央部「F」のマークは「福島県」の更なる「復興」の願い、また生徒たちの可能性として「Future(未来)」と「Forward(前へ)」の意味を込めたデザイン。船側の青いラインはいわき海星高校のスクールカラーであり、かつ「海」「水平線」をイメージしたもの。なお先代福島丸は東日本大震災後にいわき海星高等学校校舎が使用できなかった期間「海に浮かぶ教室」として使用された

画像提供 福島県立いわき海星高等学校



#### 山形県立加茂水産高等学校実習船 鳥海丸(ちょうかいまる)

総トン数 233トン／全長 44.82メートル／竣工 2011年1月31日／定員(最大搭載人員) 39名

本船は2011年3月5日に建造地である石巻市を出港した。先代の鳥海丸は3月9日に売船のため石巻市を出港する予定だったが、悪天候のため延期となり、3月11日の東日本大震災により隣の宮城県東松島市まで流され座礁した

画像提供 山形県立加茂水産高等学校



#### 茨城県立海洋高等学校実習船 鹿島丸(かしまる)

総トン数 313トン／全長 47.23メートル／竣工 2016年3月24日／定員(最大搭載人員) 43名

本船は5代目の鹿島丸。初代は1954年建造。茨城県内唯一の水産・海洋系高等学校である県立海洋高等学校で実習教育を行う

画像提供 茨城県立海洋高等学校



#### 千葉県立水産高等学校漁業実習船 千潮丸(ちしおまる)

総トン数 499トン／全長 56.09メートル／竣工 2006年7月20日／定員(最大搭載人員) 63名

千葉県立高校で使用される漁業実習船

画像提供 千葉県立館山総合高等学校



#### 東京都立大島海洋国際高等学校実習船 大島丸(おおしまる)

総トン数 681トン／全長 59.05メートル／竣工 2020年2月28日／定員(最大搭載人員) 49名

2020年9月より大島丸を活用した航海学習を開始。1年生全員が「水産海洋基礎」科目で実習船「大島丸」による体験乗船を行う

画像提供 東京都教育庁





**新潟県立海洋高等学校実習船 海洋丸(かいようまる)**

総トン数 322トン／全長 45.41メートル／竣工 2019年3月8日／定員(最大搭載人員) 42名

本船は新潟県立海洋高等学校での漁業実習(イカ釣り・簞・はえ縄・一本釣)、航海学や機関学の実習、海洋観測などを行う

画像提供 新潟県立海洋高等学校



**神奈川県立海洋科学高等学校実習船 湘南丸(しょうなんまる)**

総トン数 696トン／全長 65.48メートル／竣工 2018年2月22日／定員(最大搭載人員) 80名

初代の「神奈川丸」(1954年竣工)から数えて7代目の実習船

画像提供 神奈川県立海洋科学高等学校

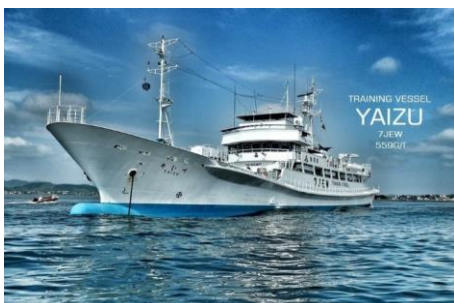


**愛知県立三谷水産高等学校実習船 愛知丸(あいちまる)**

総トン数 299トン／全長 46.35メートル／竣工 2007年／定員(最大搭載人員) 50名

写真は2019年に横浜港大さん橋に停泊する愛知丸。本船はカツオ一本釣り漁船。乗船実習の他、ダイビング実習や海洋調査にも使用されている

画像提供 愛知県立三谷水産高等学校



**静岡県立焼津水産高等学校実習船 やいづ**

総トン数 559トン／全長 65.24メートル／竣工 2009年6月1日／定員(最大搭載人員) 67名

遠洋カツオ一本釣り練習船

画像提供 静岡県立焼津水産高等学校



#### 三重県立水産高等学校実習船 しろちどり

総トン数 499トン／全長 61.96メートル／竣工 2000年3月22日／定員(最大搭載人員) 70名

カツオ一本釣り漁業実習や海洋資源・海洋環境調査などに用いられている

画像提供 三重県立水産高等学校



#### 兵庫県立香住高等学校実習船 但州丸(たんしゅうまる)

総トン数 358トン／全長 49.87メートル／竣工 2015年3月／定員(最大搭載人員) 45名

トロール実習やマグロはえ縄漁業実習、また地域の主要漁業であるイカ釣り実習のできる機器を装備。阪神淡路大震災から20年目に建造され、災害時の被災者を海上経路で運ぶ災害時支援船としてのシステムを導入した

画像提供 兵庫県立香住高等学校



#### 京都府立海洋高等学校実習船 みずなぎ

総トン数 258トン／全長 47.46メートル／竣工 2014年3月28日／定員(最大搭載人員) 34名

京都府立海洋高等学校は宮津市にある。海洋工学科航海船舶コースでみずなぎに乗船し、船員を目指す

画像提供 京都府立海洋高等学校



#### 愛媛県立宇和島水産高等学校水産実習船 えひめ丸(えひめまる)

総トン数 499トン／全長 56.47メートル／竣工 2002年11月30日／定員(最大搭載人員) 60名

2001年2月10日に先代えひめ丸がハワイ・オアフ島沖で米国原子力潜水艦に衝突され、沈没。その後継船として建造された。建造にあたっては安全性の向上が考慮された

画像提供 愛媛県立宇和島水産高等学校



**高知県立高知海洋高等学校実習船 土佐海援丸(とさかいえんまる)**

総トン数 486トン／全長 55.50メートル／竣工 2011年8月20日／定員(最大搭載人員) 56名

高知海洋高校航海コース・機関コース生徒が乗船実習を行う。マグロはえ縄漁業実習や海洋観測実習を行う

画像提供 高知県立高知海洋高等学校



**大分県立海洋科学高等学校・香川県立多度津高等学校 共同運航実習船 翔洋丸(しょうようまる)**

総トン数 673トン／全長 64.37メートル／竣工 2019年3月14日／定員(最大搭載人員) 82名

両校でのマグロはえ縄漁業実習や航海・機関実習などに用いられている

画像提供 大分県立海洋科学高等学校・香川県立多度津高等学校



**鹿児島県立鹿児島水産高等学校実習船 薩摩青雲丸(さつませいうんまる)**

総トン数 645トン／全長 64.25メートル／竣工 2002年3月15日／定員(最大搭載人員) 63名

マグロはえ縄漁業実習、航海運用学・機関学の実習等に使用される。女子生徒専用の衛生区画(洗面所、浴室、トイレ)を設けている

画像提供 鹿児島県立鹿児島水産高等学校



**熊本県立天草拓心高等学校水産実習船 熊本丸(くまもとまる)**

総トン数 495トン／全長 54.87メートル／竣工 2018年12月／定員(最大搭載人員) 48名

同船のキャッチフレーズは「水産教育を未来に繋げる 最新鋭ハイブリッド実習船」。熊本県立天草拓心高等学校海洋科学科海洋航海コースにてトロール漁業実習や操船航海実習などを行うほか、災害時の災害支援船としての活躍も想定されている。本船は東日本大震災で大きな被害のあった宮城県石巻市の造船所(株)ヤマニシで建造され、熊本地震と東日本大震災からの再生の道を歩み、熊本・宮城両県の復興の象徴として建造された

画像提供 熊本県立天草拓心高等学校





### 福岡・長崎・山口三県共同運航実習船 海友丸(かいゆうまる)

総トン数 698トン／全長 61.01メートル／竣工 2010年3月30日／定員(最大搭載人員) 90名

福岡県立水産高等学校・長崎県立長崎鶴洋高等学校・山口県立大津緑洋高等学校で共同利用される実習船。船名「海友丸」は「海と友達になろう」「三県の水産系高校生が海を舞台に友情を深めよう」という願いを込めて名付けられた。また、ファンネルマークは3県の生徒が同じ船にのり、将来の夢や目標に向かって日々努力していく様子を協同(Cooperation)、共同(Collaboration)、共感(Communication)の3つの頭文字で表したものの。船体側面部のデザインは3校の生徒が協力・共同して実習に取り組む様子を各校のイメージカラーを使い表現した。いずれも3県の中・高校生から募集したもの

画像提供 福岡県立水産高等学校



### 沖縄県立高等学校実習船 海邦丸五世(かいほうまるごせい)

総トン数 499トン／全長 56.97メートル／竣工 2002年／定員(最大搭載人員) 75名

漁業実習、航海実習、機関実習、無線通信実習、海洋観測及び資源調査等を行う多目的実習船。船体デザインは沖縄の「屋根瓦・海・空・太陽・花」をイメージしたストライプが入っている

画像提供 沖縄県立沖縄水産高等学校

### 島根県水産練習船 神海丸(しんかいまる)

総トン数 699トン／全長 68.02メートル／竣工 2013年3月28日／定員(最大搭載人員) 93名

神海丸は、2011年の東日本大震災後、受注造船所(株)ヤマニシ(宮城県石巻市)で初めて建造された「復興一番船」。島根県立水産高等学校の生徒を対象に乗船実習や遠洋漁業実習(ハワイ近海でのマグロはえ縄実習)が行われている

### 宮崎県立宮崎海洋高等学校実習船 進洋丸(しんようまる)

総トン数 646トン／全長 64.21メートル／竣工 2005年3月15日／定員(最大搭載人員) 68名

生徒の居住場所や学習室を全て喫水線上に配置するなど、高い安全性と快適な居住性を実現した。車いすで利用できるような通路幅や段差を少なくし、手すりや船内案内板に点字をつけるなどユニバーサルデザインにも配慮している

## 海上保安庁の練習船



### 練習船 みうら

総トン数 3,000トン／全長 115.00メートル／竣工 1998年10月28日／定員(最大搭載人員) 150名

海上保安学校(京都府舞鶴市)の練習船。海上保安官の育成に使用されるとともに、大規模災害発生時は救援活動を実施する。海上保安学校の練習船として3代目

画像提供 海上保安学校



### 練習船 こじま

総トン数 2,950トン／全長 115.00メートル／竣工 1993年 / 定員(最大搭載人員) 118名

海上保安大学校(広島県呉市)は、海上保安庁の幹部職員として必要な知識と技能を学ぶ教育機関。本船は同校4代目の練習船。毎年世界一周の遠洋航海を行っている

画像提供 海上保安大学校

## 大学の練習船



### 練習船 海鷹丸(うみたかまる)

総トン数 1,886トン／全長 93.00メートル／竣工 2000年6月30日／定員(最大搭載人員) 107名

太平洋、インド洋、南氷洋等で乗船実習や調査研究航海を実施

画像提供 東京海洋大学



### 練習船 汐路丸(しおじまる)

総トン数 425トン／全長 49.93メートル／竣工 1987年2月10日／定員(最大搭載人員) 62名

本船を使用し民間企業等7社と「自立型海上輸送システムの研究」に関する実証実験を行っている

画像提供 東京海洋大学



### 練習船 神鷹丸(しんようまる)

総トン数 986トン／全長 64.55メートル／竣工 2016年3月31日／定員(最大搭載人員) 76名

日本周辺から太平洋赤道海域までを航海し、水産・海洋に関する実習や海技教育を行う。海底下まで調査できる最新鋭の観測装置を搭載

画像提供 東京海洋大学





#### 練習船 青鷹丸(せいようまる)

総トン数 170トン／全長 35.50メートル／竣工 1987年10月31日／定員(最大搭載人員) 36名

東京湾、相模灘、黒潮流域等日本近海が行動海域。東京湾の水質等に関する長期モニタリングを行っている

画像提供 東京海洋大学



#### 学校法人東海大学海洋調査研修船 望星丸(ぼうせいまる)

総トン数 1,777トン／全長 87.98メートル／竣工 1993年／定員(最大搭載人員) 190名

東海大学建学50周年を機に建造。調査研究及び海洋教育に使用され、海洋学部では全学部の必修科目として乗船実習が行われる

画像提供 学校法人東海大学



#### 神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船 深江丸(ふかえまる)

総トン数 449トン／全長 49.95メートル／竣工 1987年10月／定員(最大搭載人員) 64名

深江丸は、神戸大学海事科学部学生の乗船実習や各種実験のほか、他学部・他大学学生の乗船研修、高校生以上一般対象の公開講座、小学校高学年や中学生対象のセミナー・校外学習、さらに企業研修等にも利用されている

画像提供 神戸大学海事博物館



#### 長崎大学水産学部附属練習船 長崎丸(ながさきまる)

総トン数 1,131トン／全長 68.93メートル／竣工 2018年3月26日／定員(最大搭載人員) 70名

日本と東シナ海を取り巻く多くの国の学生が乗船する「国際洋上キャンパス」をコンセプトに九州では最大の漁業実習船として建造された

画像提供 国立大学法人長崎大学



**長崎大学水産学部附属練習船 鶴洋丸(かくようまる)**

総トン数 155トン／全長 42.79メートル／竣工 2004年12月7日／定員(最大搭載人員) 36名

長崎大学学生や教員等の航海・漁労実習、海洋環境観測、海洋生物資源調査を行う

画像提供 国立大学法人長崎大学



**鹿児島大学水産学部附属練習船 かごしま丸(かごしままる)**

総トン数 935トン／全長 66.92メートル／竣工 2012年3月30日／定員(最大搭載人員) 72名

日本近海から太平洋や東南アジア海域での実習及び調査研究を行っている高性能練習船。風浪のある洋上で定点にとどまる、また船をその場で360度方向転換させたり真横に移動することができる特殊操船機能を有している。2013年にシップ・オブ・ザ・イヤー2012(漁船・作業船部門)を受賞

画像提供 国立大学法人鹿児島大学



**鹿児島大学水産学部附属練習船 南星丸(なんせいまる)**

総トン数 175トン／全長 41.96メートル／竣工 2002年11月28日／定員(最大搭載人員) 30名

活動海域は主に鹿児島湾内、薩摩・大隅半島沿岸、種子島・屋久島・甬島(こしきしま)列島を含む鹿児島県下離島水域。漁業実習や航海実習などに用いられる。2003年にシップ・オブ・ザ・イヤー準賞を受賞

画像提供 国立大学法人鹿児島大学



**北海道大学水産学部附属練習船 おしよる丸(おしよるまる)**

総トン数 1,598トン／全長 78.27メートル／竣工 2014年7月／定員(最大搭載人員) 99名

水産科学関連分野の研究と実習を行い、この分野での人材育成と国内外の大学や研究機関との交流、共同研究利用を目的に建造された。また、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた現地水産業の復興支援に寄与する目的でも計画された

画像提供 国立大学法人北海道大学



**北海道大学水産学部附属練習船 うしお丸(うしおまる)**

総トン数 179トン／全長 39.39メートル／竣工 1992年9月／定員(最大搭載人員) 33名

漁業調査と実習を行う。船内諸設備の拡充と調査観測機能の向上を図るため、2002年に船体延長工事を行った

画像提供 国立大学法人北海道大学

**高等専門学校の練習船**



**富山高等専門学校練習船 若潮丸(わかしおまる)**

総トン数 231トン／全長 53.59メートル／竣工 1995年9月14日／定員(最大搭載人員) 56名

船体のブルーのラインは本州を、突起は能登半島をイメージしている

画像提供 富山高等専門学校



**鳥羽商船高等専門学校練習船 鳥羽丸(とばまる)**

総トン数 244トン／全長 40.00メートル／竣工 1994年8月19日／定員(最大搭載人員) 56名

主に伊勢湾・三河湾、太平洋沿岸で訓練や調査航海を行っている

画像提供 鳥羽商船高等専門学校



**練習船 弓削丸(ゆげまる)**

総トン数 240トン／全長 40.00メートル／竣工 1994年／定員(最大搭載人員) 56名

航海実習のほかに学生や教員の実験研究にも使用されている。弓削商船高等専門学校は瀬戸内海の弓削島(愛媛県上島町)にある

画像提供 弓削商船高等専門学校





#### 練習船 広島丸(ひろしままる)

総トン数 234トン／全長 57.00メートル／竣工 1997年1月／定員(最大搭載人員) 56名

広島商船高等専門学校商船学科学生の航海実習や実験実習などに使用されている。また広島丸を活用した公開講座の実施や、瀬戸内海の各地で海上教室、体験教室、一般公開を行っている

画像提供 広島商船高等専門学校



#### 練習船 大島丸(おおしままる)

総トン数 228トン／全長 41.00メートル／竣工 1993年12月6日／定員(最大搭載人員) 99名

大島商船高等専門学校(山口県)で使用されている練習船。同校の練習船としては8代目

画像提供 大島商船高等専門学校

### 海技教育機構の練習船



#### 練習船 日本丸(にっぽんまる)

総トン数 2,570トン／全長 110.09メートル／竣工 1984年9月12日／定員(最大搭載人員) 190名

2代目の帆船日本丸。帆装艦装設計から製作まで、すべて一貫して日本国内で行った練習帆船は本船が最初。日本が保有した練習帆船の中で最大。女子実習生専用衛生設備を設置

画像提供 独立行政法人海技教育機構



#### 練習船 海王丸(かいおうまる)

総トン数 2,556トン／全長 110.09メートル／竣工 1989年9月12日／定員(最大搭載人員) 199名

2代目の海王丸。現代の日本人の体格を考慮して初代海王丸(1930年建造)よりもベッドの長さを大きくし、2メートルを標準とした

画像提供 独立行政法人海技教育機構



### 練習船 銀河丸(ぎんがまる)

総トン数 6,185トン／全長 116.40メートル／竣工 2004年6月15日／定員(最大搭載人員) 246名

一般公開時の障がい者や高齢者の見学に対応するため、船内及び装置の一部をバリアフリー対応とした

画像提供 独立行政法人海技教育機構



### 練習船 青雲丸(せいうんまる)

総トン数 5,890トン／全長 116.00メートル／竣工 1997年9月25日／定員(最大搭載人員) 252名

教室とは別に実習生食堂を設け、学習環境に配慮した

画像提供 独立行政法人海技教育機構



### 練習船 大成丸(たいせいまる)

総トン数 3,990トン／全長 91.28メートル／竣工 2014年3月31日／定員(最大搭載人員) 176名

海運業界の要請を受けて建造した、内航用の練習船。海技教育機構の練習船としてはじめて船橋を中央部に配置した

画像提供 独立行政法人海技教育機構



### 小樽海上技術学校練習船 はりうす

総トン数 43トン／全長 20.00メートル／竣工 1994年3月30日／定員(最大搭載人員) 45名

小樽運河に係留している小型練習船。船舶の操縦、レーダーや通信装置の取り扱いの基礎を学ぶ。生徒一人一人が実際にかじを操作する

画像提供 独立行政法人海技教育機構



**宮古海上技術短期大学校練習船 月山(がっさん)**

総トン数 43トン／全長 20.00メートル／竣工 1994年8月19日／定員(最大搭載人員) 50名

本船を用いて宮古湾で海上実習を行う

画像提供 独立行政法人海技教育機構



**館山海上技術学校練習船 望洋丸(ぼうようまる)**

総トン数 44トン／全長 22.86メートル／竣工 1994年7月22日／定員(最大搭載人員) 50名

館山海上技術学校では、望洋丸など小型艇を使って週に1回海上実習を行っている

画像提供 独立行政法人海技教育機構



**清水海上技術短期大学校練習船 かざはや**

総トン数 44トン／全長 22.86メートル／竣工 1994年3月10日／定員(最大搭載人員) 50名

本船を用いて、1年次の海上実習を行う。海上実習では学生約20名と教員が4、5名で船の操縦訓練を行う

画像提供 独立行政法人海技教育機構



**唐津海上技術学校練習船 あさかぜ**

総トン数 44トン／全長 22.86メートル／竣工 1994年7月30日／定員(最大搭載人員) 50名

操舵、機関運転など船員の実務を実習する

画像提供 独立行政法人海技教育機構





<b>波方海上技術短期大学校練習船 くるしま</b>
総トン数 43トン／全長 20.00メートル／竣工 1994年8月26日／定員(最大搭載人員) 50名
波方(なみかた)海上技術短期大学校は愛媛県今治市にある。瀬戸内海来島海峡をフィールドに、船舶の運航全般にわたる実習を行う
画像提供 独立行政法人海技教育機構



<b>口之津海上技術学校練習船 口洋丸(くちようまる)</b>
総トン数 44トン／全長 22.86メートル／竣工 1994年8月18日／定員(最大搭載人員) 50名
口之津(くちのつ)海上技術学校は長崎県南島原市にある。3学年とも週1回3時間の海上実習を本船で行う
画像提供 独立行政法人海技教育機構



<b>海技大学校練習船 海技丸(かいぎまる)</b>
総トン数 157トン／全長 38.00メートル／竣工 1988年3月22日／定員(最大搭載人員) 50名
海技大学校(兵庫県芦屋市)練習船として3代目。海上実習で用いられるほか、市民の体験航海などにも活用されている
画像提供 独立行政法人海技教育機構

海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念・帆船日本丸進水91周年記念 令和2年度横浜みなと博物館企画展「日本の練習船～海の上の学校」  
 2021年2月27日(土)～5月9日(日) 会場:横浜みなと博物館特別展示室 公益財団法人帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体  
 (助成:みなとの博物館ネットワーク・フォーラム/後援:海洋都市横浜うみ協議会、神奈川県教育委員会、横浜市港湾局)

(2021年3月31日現在)